

中小企業景況調査報告書

平成30年度第2・四半期（7～9月）

山内一豊



Kazutoyo Yamachi

生 年 1545年(天文14)
没 年 1605年(慶長10)
享 年 61歳
出身地 尾張國黒田
幼 名 辰之助

郷土が生んだ戦国武将
「山内一豊」出生の地

黒田城跡



Site of Karoda Castle

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 49社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- ・ 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- ・ 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- ・ 調査の実施（方法） 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- ・ 調査対象企業数 100事業所。

- ・ 調査対象企業の業種 次の表のとおり

(1) 景況調査対象事業所(100)の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	61
(繊維製造業)	(49)
(その他製造業)	(12)
卸売業	11
小売業	11
サービス業	10
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所(49)の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	22
染色整理加工業	10
縫製加工業	3
そ の 他	8
合 計	49

- ・ 分析方法
 1. DI (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。
- ・ 分析項目
 1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前期比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り
- ・ その他の分析
 1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は弱さがみられるものの、回復基調は続いている。

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1、3参照)は、売上、資金繰りのDI値で前期実績を上回り、業況、採算、従業員のDI値で前期実績を下回った。

来期は、業況、採算、従業員のDI値で今期実績を上回り、売上のDI値は今期実績横ばい、資金繰りのDI値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

業況DI値は、前期実績 5.1 から 8.0 (2.9ポイント減)となり、来期は 1.0 (7.0ポイント増)となる見通し。

売上DI値は、前期実績 4.0 から 4.0 (8.0ポイント増)となり、来期は 4.0 (横ばい)となる見通し。

採算DI値は、前期実績 6.1 から 12.0 (5.9ポイント減)となり、来期は 10.0 (2.0ポイント増)となる見通し。

資金繰りDI値は、前期実績 7.1 から 2.0 (5.1ポイント増)となり、来期は 3.0 (1.0ポイント減)となる見通し。

従業員DI値は、前期実績 6.1 から 2.0 (4.1ポイント減)となり、来期は 3.0 (1.0ポイント増)となる見通し。

繊維製造業の状況

今期(表2、5参照)は、資金繰り、従業員のDI値で、前期実績を上回り、業況、売上、採算のDI値で、前期実績を下回った。

来期は、売上のDI値で、今期実績横ばい、業況、採算、資金繰り、従業員のDI値で、今期実績を下回る見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表7、8参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で、前期実績を下回った。

指標別の状況

業況DI値は、前期実績 10.1 から 12.0 (22.1ポイント減)となった。

売上DI値は、前期実績 18.2 から 9.0 (27.2ポイント減)となった。

資金繰りDI値は、前期実績 3.0 から 6.0 (3.0ポイント減)となった。

繊維製造業の状況

今期(表9、10参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で、前期実績を下回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(31件、21事業所)に比べ事業所数は横ばいながら、件数が増加している。

今期の実績(表4、6参照)は33件(21事業所)。その主な内訳は、『生産設備』13件、『工場建物』6件、『車両・運搬具』『付帯施設』『O A 機器』各3件となっている。

来期の計画(表4、6参照)は48件(28事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』17件、『O A 機器』8件、『車両・運搬具』6件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表11参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『仕入等単価の上昇』、『従業員の確保難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（建設業）

当地の建設工事は前年比マイナスとなっている。今後は、土木・舗装工事の老朽インフラの更新工事に注力していく。加えて、解体工事にも積極的に取り組む方針である。

B 社（製造業 <燃糸>）

受注はあるが、機械故障や技術者不足等で生産が追い付かず断っている仕事もある。オーストラリアから輸入している原材料のウールは、間伐で羊の餌がない状態で更なる値上げが予想される。1割程度の加工賃の値上げ交渉をしているが、半分以下に留まっている。

C 社（製造業 <織物>）

業況は、ここ数年内で最も仕事が多く好調である。その要因は、Jクオリティ(日本製アパレル)ブームに加えオーダースーツの需要が増加しているから。

D 社（製造業 <織物>）

売上は引き合いが活発で増収となっている。一方、利益は原材料高および加工賃アップにより減益で推移している。今後も、原材料価格が下がる見通しはなく、厳しい状況が続く見通しである。

E 社（製造業 <染色整理加工>）

同業他社の廃業等により同業者が減少する中、前期に引き続き取引先からの大量受注もあり、業績は好調である。来期も受注残、引き合いも多い状況で、好調が続く見込みである。

F 社（製造業<食品>）

猛暑が続いており野菜の不作により値段が高騰している。その代替品として比較的安価な当社品が好まれており、売上は微増している。ただ、原材料の仕入単価はジリジリ上昇しており、利益を圧迫している。

G 社（卸売業）

染料の仕入価格は、1週間ごとに価格が上がるものや時価（その都度問い合わせ）のものもあるなど、上昇傾向にある。その背景は、中国の環境問題、すなわち排水設備設置の義務化によるコストアップ分を染料価格に転嫁しているからである。

H 社（小売業）

8月末になり少し落ち着いてきたが、今年は猛暑の影響でクーラーの受注が増加し、かなり多忙であった。

I 社（小売業）

春物として仕入れた商品（スカート・コート）は、気温上昇が早かったため在庫となったが、秋物として売れている。冬物の入荷も始まっているが、10月末まで暑い予報のため販売時期を遅らせる予定である。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	H29. 7～9月	H29. 10～12月	H30. 1～3月	H30. 4～6月	今 期 H30. 7～9月	来期の見通し H30. 10～12月
業 況	▲35.0	▲26.0	▲22.0	▲ 5.1	▲ 8.0	▲ 1.0
売 上	▲30.0	▲21.0	▲30.0	▲ 4.0	4.0	4.0
採 算	▲24.0	▲33.0	▲27.0	▲ 6.1	▲12.0	▲10.0
資金繰り	▲13.0	▲13.0	▲14.0	▲ 7.1	▲ 2.0	▲ 3.0
従 業 員	▲ 5.0	▲ 5.0	▲ 7.0	6.1	2.0	3.0

景況の推移（繊維製造業49事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	H29. 7～9月	H29. 10～12月	H30. 1～3月	H30. 4～6月	今 期 H30. 7～9月	来期の見通し H30. 10～12月
業 況	▲57.1	▲38.8	▲38.8	4.2	0.0	▲ 6.1
売 上	▲51.0	▲32.7	▲46.9	8.3	6.1	6.1
採 算	▲42.9	▲44.9	▲36.7	▲ 4.2	▲ 6.1	▲ 8.2
資金繰り	▲16.3	▲18.4	▲20.4	▲ 8.3	2.0	▲ 6.1
従 業 員	▲ 6.1	▲ 4.1	▲ 8.2	▲ 2.1	4.1	2.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	61	11	11	10	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (0)	15 (12)	0 (1)	2 (1)	0 (3)	17 (17)	▲ 8.0 (▲1.0)
	不変	6 (7)	28 (34)	11 (10)	7 (9)	6 (5)	58 (65)	
	悪化	1 (0)	18 (15)	0 (0)	2 (1)	4 (2)	25 (18)	
売上	増加	1 (0)	21 (19)	3 (2)	4 (3)	2 (3)	31 (27)	4.0 (4.0)
	不変	5 (6)	23 (25)	6 (8)	4 (6)	4 (5)	42 (50)	
	減少	1 (1)	17 (17)	2 (1)	3 (2)	4 (2)	27 (23)	
採算	好転	0 (0)	12 (10)	0 (0)	1 (1)	1 (2)	14 (13)	▲ 12.0 (▲10.0)
	不変	6 (6)	32 (36)	11 (11)	6 (8)	5 (3)	60 (64)	
	悪化	1 (1)	17 (15)	0 (0)	4 (2)	4 (5)	26 (23)	
資金繰り	好転	0 (0)	6 (3)	0 (1)	0 (0)	2 (1)	8 (5)	▲ 2.0 (▲3.0)
	不変	7 (7)	50 (52)	10 (10)	9 (10)	6 (8)	82 (87)	
	悪化	0 (0)	5 (6)	1 (0)	2 (1)	2 (1)	10 (8)	
従業員	増加	1 (1)	12 (11)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	17 (14)	2.0 (3.0)
	不変	4 (6)	40 (41)	9 (10)	10 (10)	5 (8)	68 (75)	
	減少	2 (0)	9 (9)	1 (0)	1 (1)	2 (1)	15 (11)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	21	来期	計画している ※2	28
	(事業所数)	実施していない	79	(事業所数)	計画していない	72

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	2 件	3 件	5. 付帯施設	3 件	4 件
2. 工場建物	6 件	5 件	6. O A 機器	3 件	8 件
3. 生産設備	13 件	17 件	7. 福利厚生施設	1 件	1 件
4. 車両・運搬具	3 件	6 件	8. その他	2 件	4 件
複数回答可			合計	33 件	48 件

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	22	10	3	8	49	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (1)	5 (4)	4 (2)	0 (0)	3 (3)	14 (10)	0.0 (▲6.1)
	不変	3 (4)	9 (10)	4 (6)	1 (1)	4 (5)	21 (26)	
	悪化	1 (1)	8 (8)	2 (2)	2 (2)	1 (0)	14 (13)	
売上	増加	2 (3)	9 (7)	5 (3)	0 (0)	2 (4)	18 (17)	6.1 (6.1)
	不変	2 (2)	6 (6)	2 (5)	2 (2)	4 (3)	16 (18)	
	減少	2 (1)	7 (9)	3 (2)	1 (1)	2 (1)	15 (14)	
採算	好転	2 (2)	5 (2)	2 (1)	0 (0)	2 (3)	11 (8)	▲ 6.1 (▲8.2)
	不変	3 (3)	10 (12)	5 (7)	2 (3)	4 (4)	24 (29)	
	悪化	1 (1)	7 (8)	3 (2)	1 (0)	2 (1)	14 (12)	
資金繰り	好転	1 (0)	3 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (3)	2.0 (▲6.1)
	不変	5 (6)	16 (16)	7 (8)	2 (2)	8 (8)	38 (40)	
	悪化	0 (0)	3 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	5 (6)	
従業員	増加	3 (2)	1 (1)	3 (2)	0 (0)	3 (3)	10 (8)	4.1 (2.0)
	不変	3 (4)	16 (18)	6 (7)	2 (1)	4 (4)	31 (34)	
	減少	0 (0)	5 (3)	1 (1)	1 (2)	1 (1)	8 (7)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業49事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	10	来期	計画している ※2	14
	(事業所数)	実施していない	39	(事業所数)	計画していない	35

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	1 件	0 件	5. 付帯施設	2 件	2 件
2. 工場建物	1 件	1 件	6. O A 機器	1 件	4 件
3. 生産設備	9 件	10 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	0 件	1 件	8. その他	0 件	0 件
			合計	14 件	18 件

複数回答可

景況の推移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	H29.7～9月	H29.10～12月	H30.1～3月	H30.4～6月	今 期 H30.7～9月
業 況	▲26.0	▲11.0	▲21.0	10.1	▲12.0
売 上	▲17.0	▲ 6.0	▲34.0	18.2	▲ 9.0
資金繰り	▲16.0	▲11.0	▲13.0	▲ 3.0	▲ 6.0

業種別集計表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	61	11	11	10	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	0	7	1	2	1	11	▲ 12.0
	不 変	6	38	9	7	6	66	
	悪 化	1	16	1	2	3	23	
売 上	増 加	0	14	3	3	3	23	▲ 9.0
	不 変	5	26	7	3	4	45	
	減 少	2	21	1	5	3	32	
資 金 繰 り	好 転	0	5	0	0	1	6	▲ 6.0
	不 変	7	49	10	9	7	82	
	悪 化	0	7	1	2	2	12	

景況の推移 (繊維製造業49事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	H29.7～9月	H29.10～12月	H30.1～3月	H30.4～6月	今期 H30.7～9月
業況	▲44.9	▲18.4	▲30.6	20.8	▲16.3
売上	▲22.4	▲22.4	▲46.9	37.5	▲16.3
資金繰り	▲18.4	▲14.3	▲20.4	▲2.1	▲4.1

業種別集計表 (繊維製造業49事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	22	10	3	8	49	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1	2	1	0	2	6	▲16.3
	不変	4	11	7	2	5	29	
	悪化	1	9	2	1	1	14	
売上	増加	1	6	1	0	2	10	▲16.3
	不変	3	7	4	2	5	21	
	減少	2	9	5	1	1	18	
資金繰り	好転	1	3	0	0	1	5	▲4.1
	不変	5	15	8	2	7	37	
	悪化	0	4	2	1	0	7	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○従業員の確保難 ○民間需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難 ○官公需要の停滞	○下請業者の確保難
繊維製造業	○原材料価格の上昇	○需要の停滞	○生産設備の不足・ 老朽化
製造業 (繊維製造業は除く)	○人件費の増加	○生産設備の不足・ 老朽化 ○需要の停滞	○原材料価格の上昇
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難 ○仕入単価の上昇	○従業員の確保難
小売業	○仕入単価の上昇	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○消費者ニーズの 変化への対応
サービス業	○従業員の確保難	○人件費の増加	○利用料金の低下・ 上昇難

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	1
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	7
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	8
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	5
官公需要の停滞	7
民間需要の停滞	8
その他 (事業継承)	3
合 計	39

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	4
製品ニーズの変化への対応	21
生産設備の不足・老朽化	32
生産設備の過剰	1
原材料価格の上昇	63
原材料の不足	2
人件費の増加	28
原材料費・人件費以外の経費の増加	2
製品(加工)単価の低下・上昇難	28
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	4
従業員の確保難	12
熟練技術者の確保難	22
需要の停滞	39
その他 (外注先の高齢化の為、先細り傾向、 最盛期と閑散期の仕事量の差)	3
合 計	268

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製造業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	5
生産設備の不足・老朽化	11
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	9
原材料の不足	0
人件費の増加	12
原材料費・人件費以外の経費の増加	3
製品(加工)単価の低下・上昇難	7
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	8
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	11
その他 (ペーパーレス化)	1
合 計	71

卸売業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
メーカーの進出による競争の激化	2
小売業の進出による競争の激化	4
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	2
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	4
販売単価の低下・上昇難	7
仕入単価の上昇	7
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	6
需要の停滞	15
その他 (ネット通販との価格比較による価格低下、 家族構成の変化により風習が伝わらなくなって 商品が売れなくなった。)	3
合 計	58

※ 1位 … … 3ポイント
2位 … … 2ポイント
3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	8
同業者の進出	4
購買力の他地域への流出	1
消費者ニーズの変化への対応	7
店舗の狭隘・老朽化	3
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	3
仕入単価の上昇	10
金利負担の増加	1
代金回収の悪化	1
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	4
需要の停滞	5
その他 (ネット販売&通販)	3
合 計	53

サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
利用者ニーズの変化への対応	6
店舗施設の狭隘・老朽化	0
人件費の増加	10
人件費以外の経費の増加	4
利用料金の低下・上昇難	7
材料等仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	14
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	0
その他	0
合 計	53

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

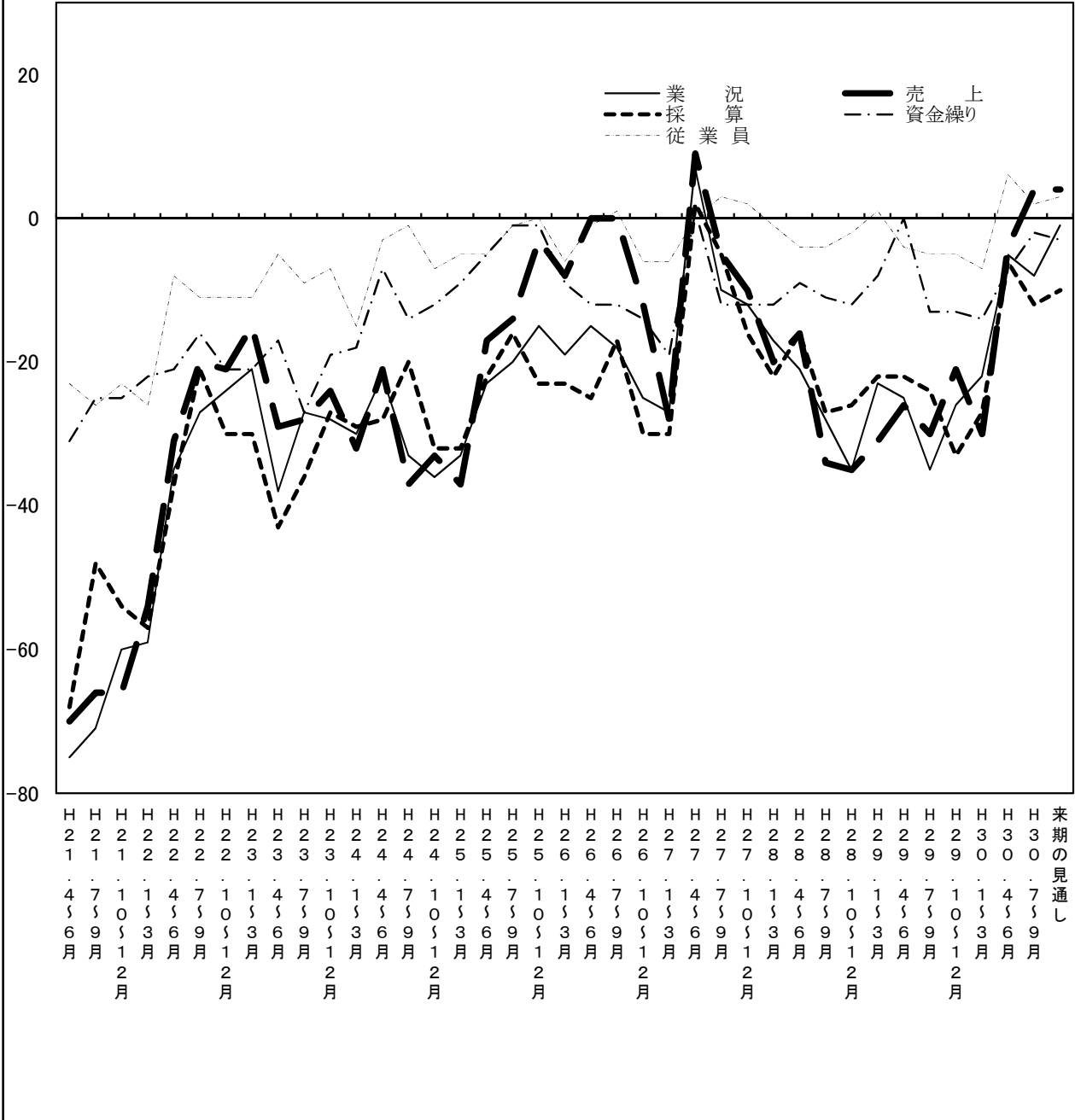


図 2

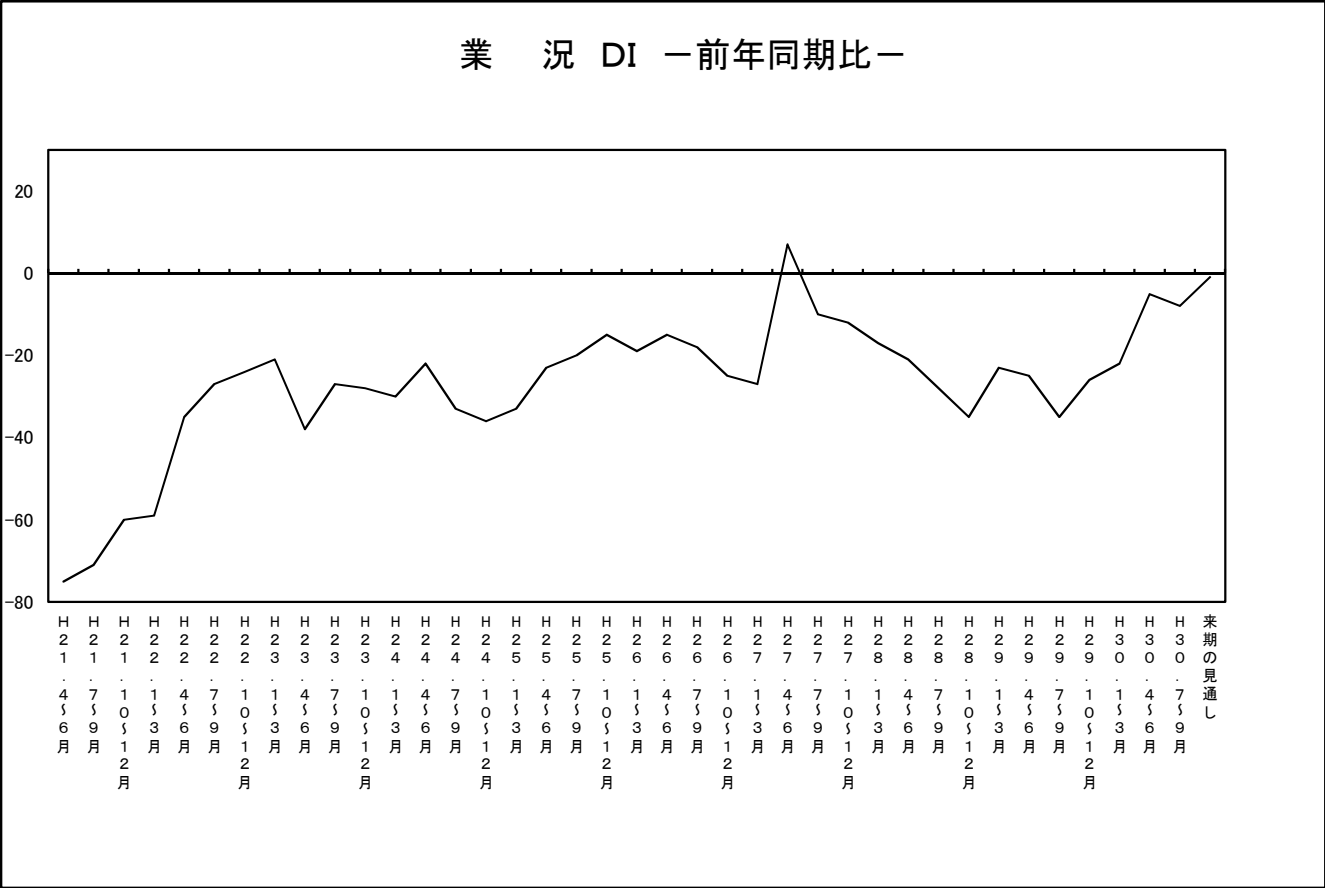


図 3

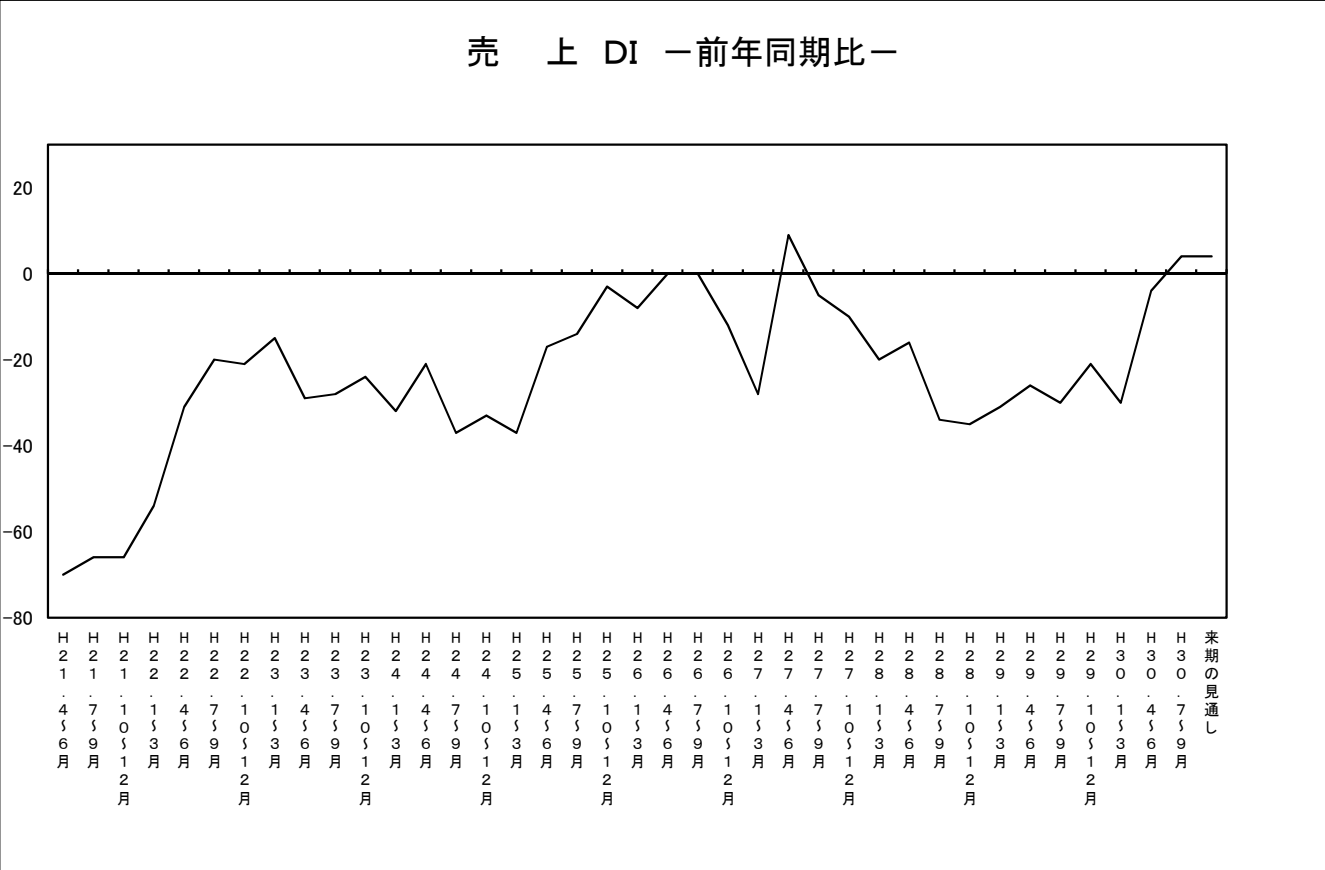


図 4

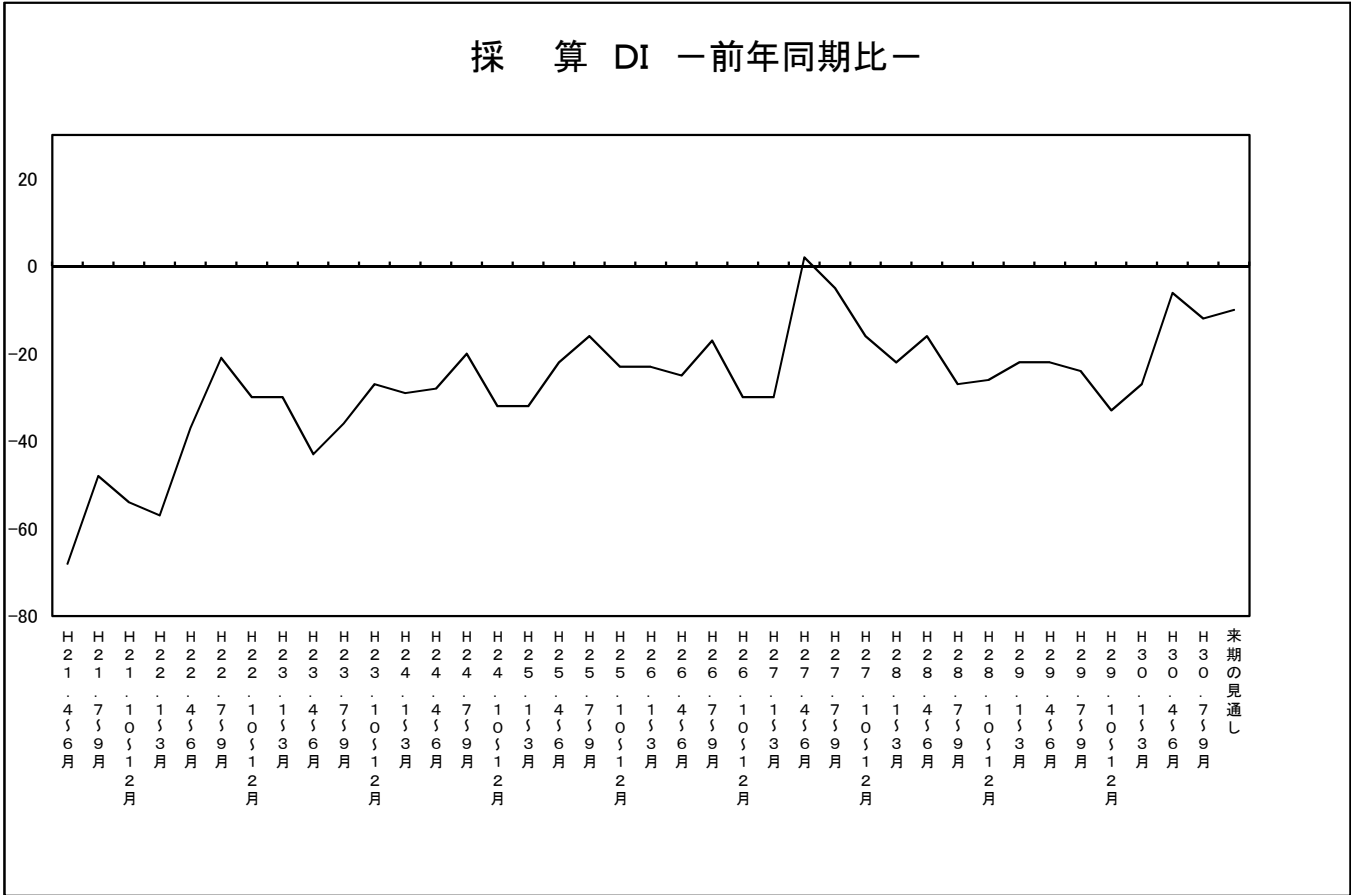
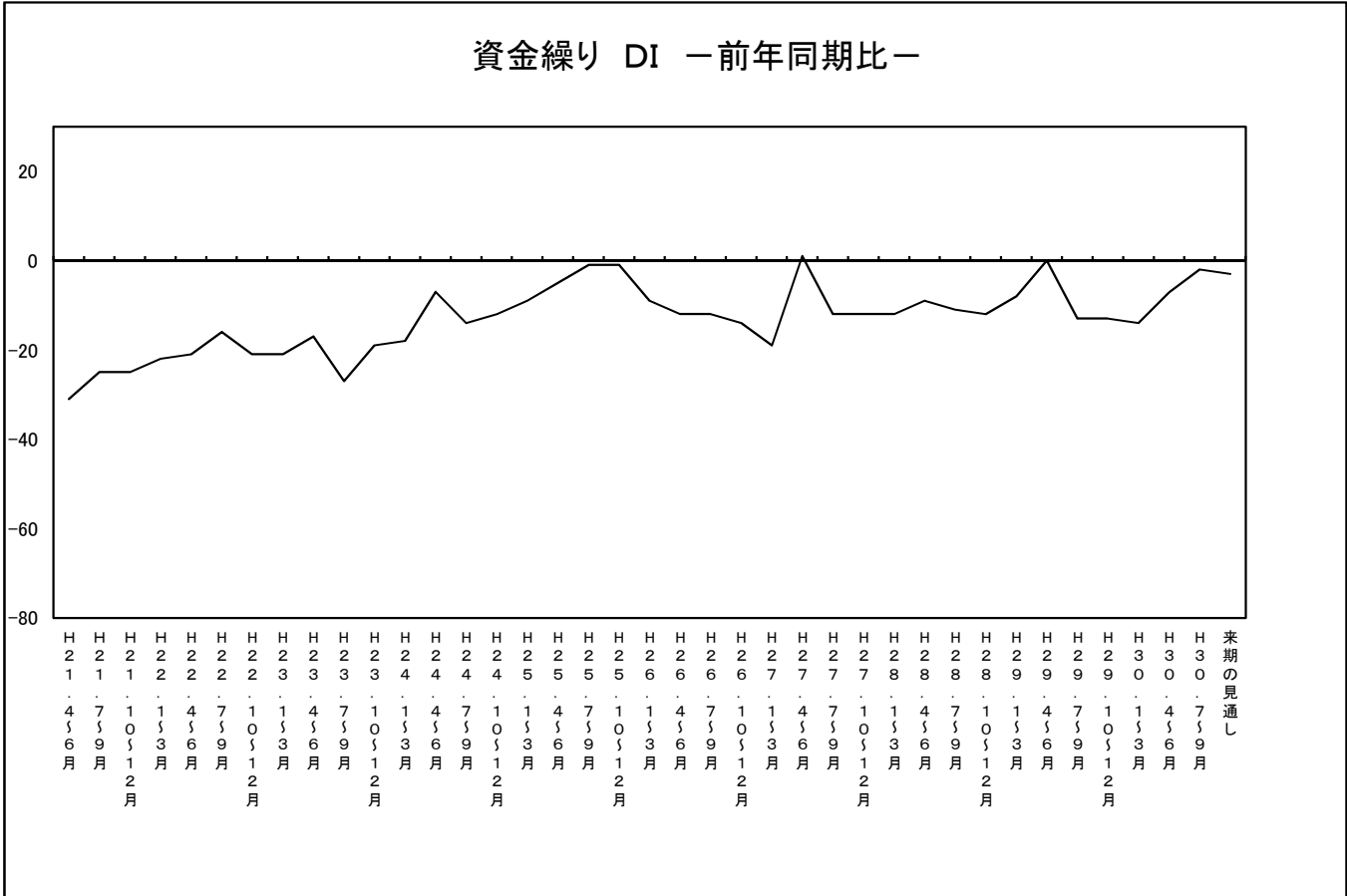
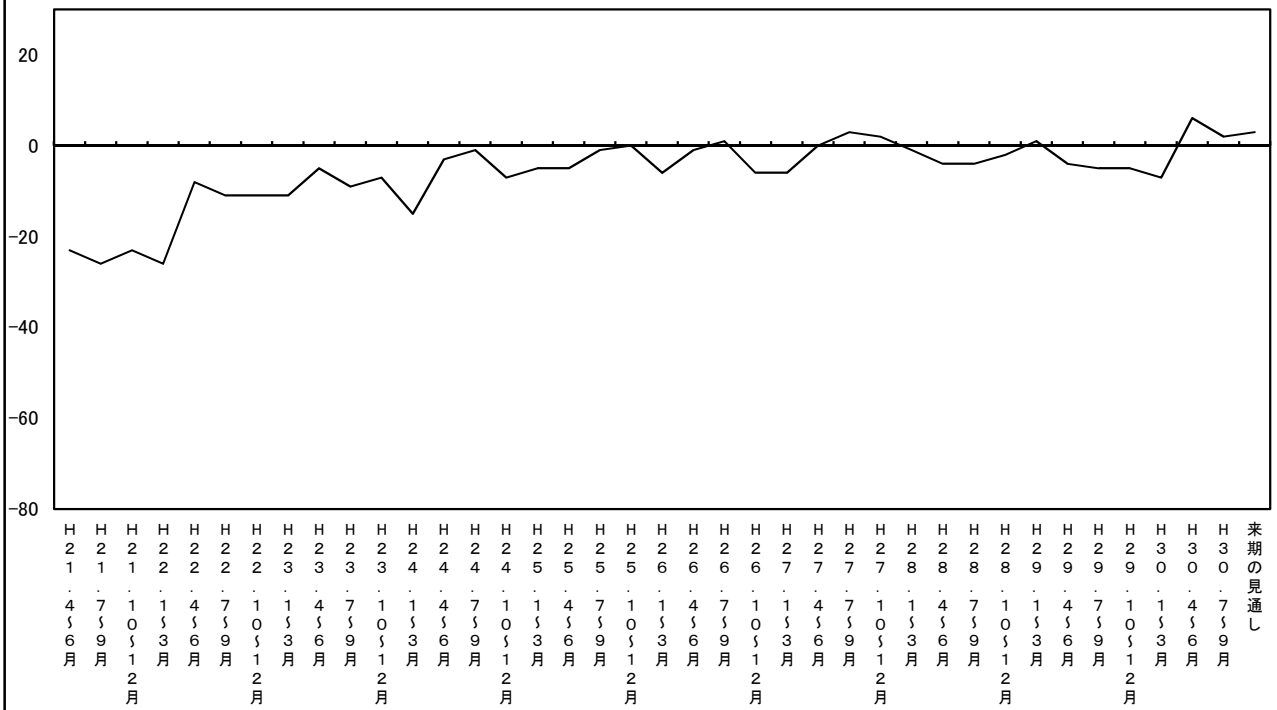


図 5



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp